

比較社会文化学府

I	教育水準	教育 3-2
II	質の向上度	教育 3-4

I 教育水準（分析項目ごとの水準及び判断理由）

1. 教育の実施体制

期待される水準にある

[判断理由]

「基本的組織の編成」については、2専攻を設置し、それぞれの教育目的に合致した教員を配置している。学生募集の工夫、複数入試の実施、さらに将来計画委員会の下で、専攻の改編も検討されているなどの相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。

「教育内容、教育方法の改善に向けて取り組む体制」については、留学生への支援制度の改善、学会報告支援等がなされており、教育内容・方法の改善については、授業状態調査、学生アンケート調査を実施したなどの相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。

以上の点について、比較社会文化学府の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、教育の実施体制は、比較社会文化学府が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断される。

2. 教育内容

期待される水準にある

[判断理由]

「教育課程の編成」については、学際的・総合的視野を拓けるような科目を配置し、指導教員団による演習等を組み込んだ教育課程が編成されているなどの相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。

「学生や社会からの要請への対応」については、最先端の研究成果をふまえた授業の開講や、研究プロジェクトへの学生の参加を促すなどの相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。

以上の点について、比較社会文化学府の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、教育内容は、比較社会文化学府が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断される。

3. 教育方法

期待される水準を下回る

[判断理由]

「授業形態の組合せと学習指導法の工夫」については、指導教員団の規定を内規で定め、学際的な集団指導体制を目指している点は評価できるが、学生のアンケートでは修士論文・博士論文の指導や授業運営の連携調整、進路指導などで、3割前後がうまくいっていないと答えており、「有意義だった授業の取り組み」で、「自分の研究に結びつく演習・実験」を挙げた者がほぼ5割、「論文執筆の訓練」を挙げたものが5割に達していないことなど、論文指導とコースワークがなお十分に機能しているとはいえない。提出された現況調査表の内容では、比較社会文化学府が想定している関係者の期待される水準にあるとは言えないことから、期待される水準を下回ると判断される。

「主体的な学習を促す取組」については、授業に要する準備が学生から適正と判断されており、個別の履修指導も行われ、施設面での支援もなされているなどの相応な取組を行っていることから、期待される水準にあると判断される。

以上の点について、比較社会文化学府の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、教育方法は、比較社会文化学府が想定している関係者の「期待される水準を下回る」と判断される。

4. 学業の成果

期待される水準にある

[判断理由]

「学生が身に付けた学力や資質・能力」については、学位授与状況は、修士44名、博士22名であり、学位審査の適正化に向け取り組んでいる。また、学生の受賞や研究助成を多数獲得しているなどの相応な成果があることから、期待される水準にあると判断される。

「学業の成果に関する学生の評価」については、当該学府の教育目的が教育内容や制度に反映されていると評価している学生が、項目ごとに約50～70%おり、学業の成果が評価されているなどの相応な成果があることから、期待される水準にあると判断される。

以上の点について、比較社会文化学府の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、学業の成果は、比較社会文化学府が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断される。

5. 進路・就職の状況

期待される水準にある

[判断理由]

「卒業（修了）後の進路の状況」については、修士課程修了生のうち、進学者と就職者を合わせて9割が進路を決定しており、博士課程修了又は退学者の就職希望者の9割以上が就職しているなどの相応な成果があることから、期待される水準にあると判断される。

「関係者からの評価」については、意見聴取の方法や新聞記事などが示されており、アンケートに関しては、回収率が悪いものの意見を聴取する努力がなされているなどの相応な成果があることから、期待される水準にあると判断される。

以上の点について、比較社会文化学府の目的・特徴を踏まえつつ総合的に勘案した結果、進路・就職の状況は、比較社会文化学府が想定している関係者の「期待される水準にある」と判断される。

II 質の向上度

1. 質の向上度

相応に改善、向上している

当該組織から示された事例は2件であり、そのすべてが、「大きく改善、向上している、または、高い質（水準）を維持している」または「相応に改善、向上している」と判断された。